

## 大迫土木工業株式会社



会社の風景

＜主な業務内容＞  
土木、とび・土工、石、ほ装、  
造園、水道施設工事、管工事 他  
＜EA21 登録日＞  
2009年7月



左から環境管理責任者の大園部長

環境事務局の小川様、濱田様

今回お邪魔したのは、鹿児島県薩摩郡さつま町にある[大迫土木工業株式会社](#)です。

会社は、TGALメルマガ5月号で紹介した[ホタル舟](#)等でまち起しをしている[さつま町](#)にあり、周りに森林が多いこともあり、林道・治山などの土木工事が得意とのことでした。

また、生態系の保護に配慮した土木工事を自主的に実施されています。

### 環境改善の取組み

事務所・現場での省エネ・節水・紙削減・車燃料削減・環境配慮の低騒音・省エネ重機の使用などを推進していますが、特徴的な活動をご紹介します。

#### 1. 環境改善施策実施の進捗管理

環境改善計画書は、一般的に月々の数値目標を管理する様式になっています。大迫土木工業株式会社では、一般的な数値管理する様式と改善施策の実施状況を毎月評価する「**環境活動計画の目標達成手段**」様式の2種類を用いて環境改善の進捗状況を管理しています。

数値だけだと業務量や業務内容で変動しやすく、本来実施すべき施策がきちりできているかが見えにくいため、併用しているとのことでした。

「**環境活動計画の目標達成手段**」は、目標達成のための施策の実施状況を、毎月○△×で評価し、×が連続する時には是正するようになっています。また、活動の最終月に総合評価しています。

## 2. 環境配慮工事の推進

『環境配慮工事の推進』を目標に掲げ、「工事前の実施予定項目」と「工事での実施項目」を評価する様式を作成して、環境配慮工事項目の実施率を高めるようにしています。

なお、環境配慮の実施項目・内容は、工事前と工事後に全員で検討・交流しています。

環境配慮工事の要素を、「大気環境」、「水環境」、「地形・地質」、「景観」、「自然とのふれあい」、「文化財等」、「廃棄物・建設残土」、「省資源・省エネ・温室効果ガス」、「日照障害・電波障害・光害」、「環境配慮型工法及び資材」に10分類しています。

さらに、各要素をいくつかの項目に分け、それらの実践を検討するようになっています。そのような環境配慮工事項目は、元々公共工事等の設計に盛り込まれていることもありますが、環境配慮工事を提案し承認をもらい、関連機関とも調整して自主的に実践しています。

最近では、以下のような実践事例があります。

### ●谷止め工事において

①岩石蘭の移植：工事現場の近くにあった珍しい岩石蘭を近くの土地を整地して移植

②近くの石の活用：遠くから運んだ石でなく、現場近くの石を使用

③間伐材の活用：近くの森林で間引きした木材などを活用

④川魚・川蟹等への配慮：隠れやすい穴があり、

草花が根を張りやすい構造の[環境ブロック](#)を使用 等



カワゴケソウ

### ●橋梁工事において

①カワゴケソウの移植：橋の下を流れる川にある珍しいカワゴケソウを移植

②カワニナの移動：ホタルの幼虫が食べるカワニナを拾い、移動 等

### これからの環境活動

これまで、多くの環境配慮工事を実施していますが、その写真を残していなかったため、今後は写真に残して、地域の皆さんに紹介するとともに、地域の生態系保護活動の推進に生かしていきたいとのことです。

また、視野・活動をより広げるために、環境教育活動の充実・強化を計画しています。

貴重なお時間に、取材へご協力いただき、本当にありがとうございました。